

団体情報	
団体番号	34
団体名	里山焼かんかね？
所属人数（前年度）	25

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 伝統的に行われてきた農法の一つである焼畑農業を通じて、環境問題等について考える機会や学生の交流場所を創造することを目的とする
	活動内容	1. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 ・週1回のミーティングで、焼畑についてのミーティングを行っています。焼畑は環境に良いものである一方で、見た目のインパクトからか、野蛮や怖いといった印象を抱かれる方もいらっしゃいます。そうした印象をいかに払しょくし、焼畑の良さを伝えていくかを焼畑の技術的な観点や文化に着目して、日々考えています。 ・週1回程度、焼畑予定地の整備を行っています。竹を切って運ぶ作業が主です。 ・焼畑事業について 島根県奥出雲町佐白にあるダムの見える牧場の土地で焼畑を行っています。昨年は、4月から6月にかけて候補地の選定、竹林の伐採、燃料の積み上げ、防火帯の整備などの作業を行い、6月に火入れを実施し、サトイモ、ツルアズキ、トウモロコシ、シコクビエ、エゴマ、ホンリーを播種し、6月から9月にかけて雑草の除去などの作物の世話をし、9月から10月にかけて収穫を行いました。 ・鳥上地区での焼畑について 奥出雲町きらり輝く地域おこし事業の一環で、奥出雲町鳥上地区でも焼畑を行ったほか、活動報告の場を兼ねて交流会を行いました。 ここでの事業では、奥出雲町で古くから行われていた焼畑の技術を再発見するだけでなく、鳥上地区で栽培されている作物についての理解を深める、今後弊サークルで作物の栽培をするにあたり、地域から求められていることを知る大切な機会になっています。 こちらは6月から9月にかけて候補地の選定、伐採、燃料となる木々の積み上げ、などの作業を行い、8月に火入れをしました。ここでは、奥出雲町で栽培されている横田小蕎麦のほか、アツミカブを栽培しました。 ②社会や地域貢献活動 ・SDGsユニット認定について 私たちが行っている焼畑事業は、「カーボンファーマーリング」という農法に着目し、地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に深く関わっています。竹林を伐採し、焼き払い、作物を栽培し、土地を休ませ、森林を再生させるという、自然の遷移を利用した循環的で持続可能な農法です。また、焼却を行うことで雑草の種子・害虫・病原菌の発生を抑制することができ、それによって肥料・農薬・耕起が不要である

ため、環境への負荷を最低限に作物を栽培することができます。加えて、焼却によって残る植物由来の炭は分解されづらく、土壌に埋めることで炭素を長期間固定することができます。SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」および目標15「陸の豊かさを守ろう」に関連しています。

③その他アピールできること

・焼畑フォーラムin新潟山北への出場

焼畑の研究者や、焼畑農法の実践者が全国から集まり、その研究や実践のノウハウを焼畑の当事者に伝えるのみならず、世間に幅広く焼畑を周知し、次世代にその農法を生かすための糸口を見出す2年に1度の会があります。弊サークルも現地で発表し、若者が集まってるサークルが持つ伝統継承の在り方について発表しました。



			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥28,564	
		入部(会)金	0	円／人（年額）
		部(会)費	¥19,000	1000円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥12,000	
		活動・イベント収入		
		寄付金		
		スポンサー収入		
		その他	¥62,275	奥出雲町からの補助金、 Giving Campaign
		収入合計	¥121,839	
	支出	備品等購入費	¥6,110	
		施設等利用料	¥3,910	
		大会等参加費		
		広報活動費	¥8,193	
		交際費	¥4,224	
		交通費	¥66,411	
		その他	¥648	
		支出合計	¥89,496	
	差引収支		¥32,343	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望 事項※	大学に対する支援や要望	今年度から奥出雲町からの補助金の期限が終了し、 困っています。ガソリン代も高騰しているため、今年 度は前年度よりも多い援助金をお願いいたします。
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。